

2020年5月

第116号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

新型コロナウイルスとの戦い

政府は4月16日「新型コロナウイルス」の感染拡大を受け、全国に「緊急事態宣言」を発令した。

7日に7都府県に緊急事態宣言がなされてからも都市部からクラスター(感染者集団)が各地で発生し感染拡大に歯止めがかからない状態が続いていた。

それは、当初の思惑通りに人の移動制限が進まず、さらに、ナイトクラブや風俗店などの夜の街に歯止めがかからず感染者拡大阻止が十分に効果を上げることができない状態が続いていた。しかも、東京都では感染者が一日最大200人まで達し20日現在で3,000人を超え、全国でも累計で10,000人を突破した。

世界に目を向けると感染者は223万人に達し死亡者も152千人を数える。

米国では感染者742千人(死亡者40千人)スペイン同195千人(同20千人)イタリア同178千人(同23千人)などとなっている。

医療の現場では医師や看護師が悪戦苦闘している。ベッドも医療用機材も不足しており医療崩壊寸前の危機状態が続いている。

今回の緊急事態宣言によって各知事は、不要不急の外出自粛の要請、学校の休校、娯楽施設の使用停止や制限を要請・指示すること、および医療施設の臨時開設するための土地・建物の強制使用することも可能となる。

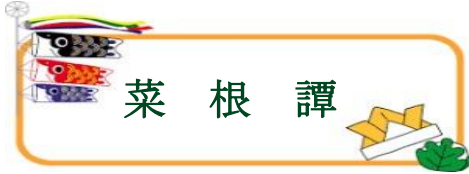
政府は感染収束の鍵として「人との接触を極力8割減少」させることを目標とし、①換気の悪い密室空間を避ける②多くの人が密集している場所を避ける③近距離での会話・発生を避けることの「三密」を呼びかけている。

しかし、そうした呼び掛けにも関わらず、最近では高齢者よりも若者の感染が拡大していることが気がかりだ。諸外国では外出禁止令などによりこれに違反した場合は罰金刑に処するなど強行措置を取っている。

我が国では個人の人権尊重との関連からあくまでもお願いの範囲にとどまっている。人権尊重は当然守られるべきものであるが今回のような異常事態に備えて「緊急事態措置法」のようなものを法整備し迅速に対処できるようにリスク管理として備えておくことも肝要ではないかと思う。

経済面では観光関連業種や飲食業などのほかサプライチェーン崩壊により製造業でも深刻な被害を被っており中小企業の倒産や今春新卒者の採用取り消しなども見られ幅広い範囲で問題が拡大している。

政府は企業に対して資金繰り対策として金融機関に対して緊急融資を要請したほか家計を支援するため所得制限を求めず全国民に一律10万円を支給することに決定した。しかし、何よりも全国民が一致協力し規律ある生活と秩序を守って感染者拡大を防止し、コロナ戦を戦い抜き勝利に結びつけるようにしたい。



(中国古典の知恵に学ぶ)

こころにゆとりを持つための環境を整える

深い山間にある泉のほとりを歩いていると、俗世間の悪い慣習やしきたりに染まった心も洗い清められる。また、詩や書、絵画などをゆっくりと楽しんで鑑賞していると、身に染みついた俗世間の悪臭も知らぬ間に消え去る。

趣味に心を奪われて、本来の志や信念を見失ってはならないが、反面、俗世間の空気に染まらないよう、意識して環境を整え、心のバランスを取ることも大切である。

(後集45)

やる気を持つ

人間、やる気があれば進歩するものだ。

手に負えないようなわんぱくな子どもでも、型にはりたがらない個性的な若者でも、やる気さえあれば、いい方向に伸ばしてやることができる。

しかし問題は、やる気がなく、毎日だらだらと過ごしているような人間だ。このような人間は、一生かかっても進歩しない。

白沙という学者が「生まれつき病気がちであることを恥じることはない。むしろ、何の病気もせず、病気の苦しみを知らない人間の方が心配だ」と言っているが、まさに的を射た意見だ。

(前集77後段)

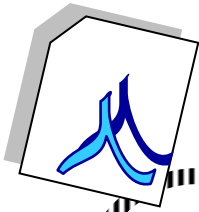
平穩無事に暮らす幸せを知る

幸せとは何だろうか。それは、なんの騒動もなく日々平穩無事に暮らせることである。それに対し、あれこれと思わずらうことが多く、常に満足できない状態ほど不幸なことはない。

ただ、人間というものは、自分がいろいろなことに首をつっこみ苦勞して初めて、何事もなく心穩やかに暮らせることの幸せに気づく。

また、心靜かに暮らすことを心がけて初めて、様々に思い悩み、欲望に踊らされて生きていること不幸に気づくのである。

(前集49)



西田 幾多郎 (日本を代表する哲学者・京都大学名誉教授)

1870年5月19日(明治3年)	加賀国河北郡森村(現石川県)に、西田得登(やすのり)、寅三(とさ)の長男として生まれる。西田家は加賀藩大庄屋を務めた豪家。父が事業に失敗破産。
1884年	石川県師範学校予備科卒業。
1894年	東京帝国大学文科大学哲学科選科修了。
1897年	この頃から参禅への関心が高まり、洗心庵の雪門玄雪、滴水、広州、虎関の諸禅師に就く。
1901年	雪門老師から寸心居士の号を受ける。
1903年	京都大徳寺孤蓬庵広州老師に参じる。
1905年	富山県国泰寺で瑞雲老師に参じる。
1913年	京都帝国大学文科大学教授。哲学以外にも、物理・生物・文学など広い分野で学問の神髓を掴みとろうとした。京都帝国大学では18年間教鞭を執り、三木清、西谷啓治など多くの哲学者を育てた。
1927年	帝国学士院会員。
1940年(昭和15年)11月10日	文化勲章授章。
1945年6月7日	尿毒症により急逝。享年75歳。

オススメのBOOK



「まむし三代記」

作者 木下 昌輝 出版社 朝日新聞出版

一介の油売りから権謀術数を駆使して美濃の国を治める大名にまで出世し「まむし」の異名で恐れられた道三。

近年では道三の国盗りが、長井新左衛門(別名・法蓮房)と道三の親子2代で行われたとの説が有力視されている。

この物語は作者がもう一代を加えて宋銭、明銭などの交換比率を利用した資金調達や軍資金としての活用などを目論む戦国時代の戦とはちょっと趣をこたにするビジネス小説まがいの戦略を打ち立てる。

ミステリー的謎も加わった異色の時代小説である。

「25%還元」マイナポイント、新型コロナで問われるカード取得の意義

日増しに新型コロナウイルスの影響が広がり感染への警戒もさることながら、経済活動への実害が表面化し、このまま長引けば物価上昇などで家計の支出が増加したり、企業の業績不振で賃金が抑制されたりする可能性も出てきました。

日々の暮らしや景気に大きく影響しそうな注目すべきトピックスとしてマイナンバーを活用したポイント還元制度、略して「マイナポイント」があります。マイナンバーカードとスマホ決済などを連動させてポイントを付与する新しい制度です。

マイナポイントでキャッシュレス還元するのは今年6月で終了する「キャッシュレス・消費者還元事業」に続く増税後の消費活性化策とされています。

還元率最大25%で9月から開始予定です。

(2021年3月まで)

例えば、2万円入金すると5千円分のポイントが還元されます。かなりの高還元率ですが、入金2万円に対して5千円分(25%)の還元を一人につき一回提供する案が有力となっています。

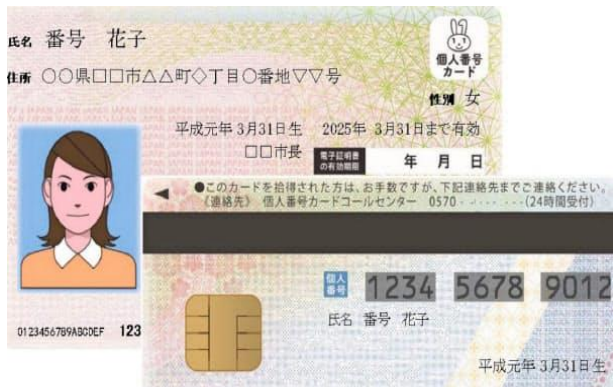
なお、ポイント還元制度を利用するには、QRコード決済やクレジット決済、デビット決済、電子マネー決済などが必要となります。

まだ検討中の部分もあり詳細が不十分なところもありますがマイナポイントに注目・期待したいところです。

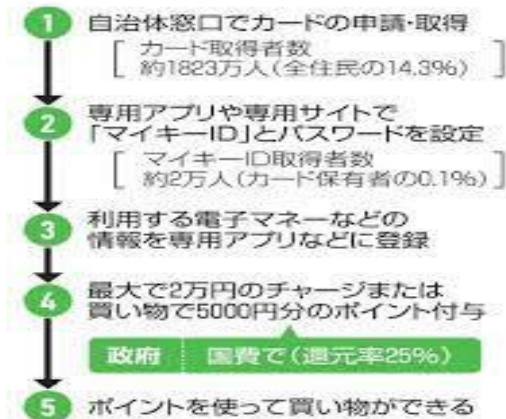


大館市(水田に浮かぶ藤源郷)
桜の次は藤の花でお花見は如何でしょうか

マイナンバーカードのイメージと還元の仕組み



マイナンバーカードを使ったポイント還元策のしくみ



マイナンバーの正式名称は「社会保障と税の共通番号」です。来年には健康保険証としても使えるようになります。さらにお薬手帳機能が導入され、確定申告での医療費控除も簡単に手続きができるよう検討されています。

【編集後記】

「三日見ぬ間の桜かな」と桜の儂さを讀んだ句があるが、今年も桜は見事に綺麗に咲いた。

しかし、各地の観桜会は中止となり残念ながら筆者もゆづり桜鑑賞が出来ずに終わった。

様々な郷土の祭りも中止となり残念だ。

コロナが終わったら思いっきりパッとやりたいものだ。

一日も早くその日が来ることを夢見て頑張ろうと思う。